

様式 2

令和 2 年度 福島大学基金研究推進事業助成による成果報告書

令和 2 年 11 月 1 7 日

学 長 殿

所属部局・職名 人間発達文化研究科

申 請 者 名 佐藤 佐敏

学会参加者名 田川 朗子

参加学会名	全国大学国語教育学会 第 139 回秋季大会（於：オンライン）
実施期間	令和 2 年 10 月 31 日 ～ 令和 2 年 11 月 1 日
成果の概要	<p>10 月 31 日の自由研究発表において、「文学教材における手紙を書く学習活動 —国語科教科用図書の傾向と分析—」という題目で発表を行った。</p> <p>平成 29 年告示『小学校学習指導要領』では「対話」が一つのキーワードとなっており、国語科においても「対話的な学び」の視点から授業改善を図ることが求められている。</p> <p>国語科の「読むこと」における「テキストとの対話」を促すための学習活動として、発表者は手紙を書く学習活動を提案する。その研究の手始めとして、手紙を書く学習活動が教育現場でどのように取り入れられているのかを調査する必要があると考えた。本発表では、平成 8 年度以降に発行された小学校および中学校の国語科教科用図書の文学的文章の単元において取り入れられている手紙を書く活動について調査し、傾向と分析を行った。</p> <p>オンラインで集まった全国の参加者に自身の研究の成果を報告するとともに、多くの質問や意見を頂くことができた。</p>